

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては令和になって初めてのお正月をつつがなくお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は元号が平成から令和となり、日本の伝統を世界に示した即位礼正殿の儀をはじめ、新天皇を祝う数多の奉祝行事が行なわれ、日本中が祝賀ムードに包まれた1年間でありました。

一方で、多くの自然災害が発生し、世界では大国間の政治や経済摩擦が複雑化するなど決して楽観できない状況で推移してきた1年でもありました。

そうした状況下であっても村民の皆様の御理解と御協力のお陰をもちまして、村政全般にわたりそれぞれの事業を順調に進めることができ、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、五加下野地内に健康福祉ゾーン整備事業の第1次事業として、東白川村国保診療所・介護老人保健施設が構想から足掛け6年で完成し、11月5日には診察や療養が始まりました。また、CATVの光ファイバー化事業も順調に工事を進めることができ、完成が待たれるところであります。

次に、立村130周年という節目の年であり、記念式典、郷土歌舞伎記念公演や文化講演会などの記念事業を開催し、村民の皆様とこの10年間を振り返りつつ、輝く未来に向けて新たな一歩を踏み出した年でもありました。

「一年の計は元旦にあり」と言いますので、この村の未来について思いを馳せますと、人口減少や高齢化の影響が村民の皆様の生活に少しずつではありますが影を落としてきている現実があります。村内の多くの事業所では担い手不足、労働力不足が深刻になってきています。医療・介護費用の増加、消費税や国保税などの負担増などにより生活の不安感が増してきていることも想像に難くありません。

これらの課題解決に今年も懸命に取り組んでまいらなければならないと思いを一層強くしているところであります。

新年の抱負として、人口対策では移住定住促進策を一層充実させるため、空き家活用やネット環境が改善されたことを活用して、テレワーク事業を併せて推進する専門の組織を立ち上げていく準備をすすめております。

農業振興では、白川茶の生産から販売までの産地構造改革について、令和元年度中に関係の皆様との合意形成を行い、対策事業を積極的に進めることといたします。

林業振興や商工業振興については、森林組合、商工会や各生産団体について各種支援策や助成制度を継続してまいります。また、担い手不足から課題となっている農地や河川などの保全対策事業、住民参加の美しい村づくり事業の推進、消防力の強化、国土強靱化地域計画を策定し、より安全で安心な村づくりを進めてまいり所存であります。

次に、新年度には子育て世代包括支援センターを設置し、現在取り組んでいる出産から成人までの様々な母子福祉事業、出産祝金、高校生までの医療費の無料化、通学支援策、奨学金返済への支援策、保育園の給食費用の副食代の軽減などを一環とした子育て支援策を継続してまいります。持続可能な村であるためには、未来を担う子ども達が東白川村で生まれ、育って良かったと思ってくれる教育が必要であると強く思っているからです。

人口減少と少子高齢化対策、いづどこで発生してもおかしくないといわれている地震や台風・豪雨災害に備え、総合計画に掲げた「人が輝く 地域力のある村 東白川村」を持続可能とするため、気持ちも新たに職員と共に努力してまいりたいと思っております。

皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年にあたり所信の一端を述べ、今年1年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。

2020年(令和2年)1月1日

東白川村長 今井俊郎